



- ・組立時間は 30 分～1 時間ほどです。
- ・ネジ、ボルト、ナットなどは締めすぎにご注意ください。
- ・怪我の無いようにご注意ください。
- ・小さなお子様の場合は保護者が組み立ててください。
- ・組み立て前に内容物を確認してください。
- ・滑走時には空気圧のチェック、各部のネジなどの緩みが無いことを確認してください。

梱包品一覧

ハンドル、本体、前輪、後輪、簡易説明書
 ハンドル保護カバー（四角）、ハンドル保護カバー（丸筒）
 クイックリリースレバー

用意する工具等

スパナ（12mm、13mm、15mm）もしくは写真のようなモンキーレンチ
 六角レンチ（3mm、5mm）
 プラスドライバー
 空気入れ（米式タイプ）



組み立て方

1. 前輪を準備する



前輪の保護材を外します。
 左右についている場合は左右両方はずします。



クイックリリースレバーを前輪に組み付けます。
 ナットと、バネを1個外します。



まずは前輪の矢印が右に向くように置きます。



クイックリリースレバーを真ん中の穴に差し込みます。



反対側に先ほど外したバネを差し込みます。
 タイヤ側にバネがすばまっている方、反対側にバネが広がっているようにして差し込みます。



ナットを締めれば前輪の準備は完成です。
 これでK B 2が進む時にはタイヤは矢印方向に回転することになります。

2. 後輪の取り付け



1
後輪の保護材を外します。
左右についている場合は左右両方はずします。



2
後輪の取り付け方です。本体後輪取り付け部の保護材を外します。



3
外したところ。



4
Vブレーキのロックを外します。



5
外したところ。



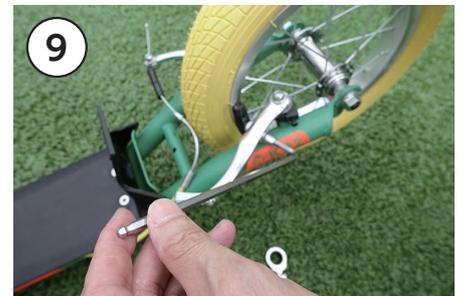
6
タイヤの矢印が前に進んだ時の回転方向になりますので、矢印を確認してタイヤを取り付けます。



7
タイヤのナット部分に爪のついた部品がありますので、その爪を指刺している穴に入れ、ナットを締めます。爪部品は左右あるので両方とも穴に爪をいれてください。



8
タイヤを置き込みながら、15mmスパナ、もしくはモンキーレンチで締め込みます。



9
六角レンチ 5mmを使いブレーキパッドを90度回します。



10
ブレーキパッドには方向があります。写真上側が少しだけ曲面になっています。この曲面をタイヤの外側に向くようにします。



11
ブレーキパッドを90度回転しました。
ブレーキなどの調整は後ほどおこないます。

3. 前輪の取り付け



1 ハンドルについている保護材を外します。



2 このタイミングでスタンドを立てると楽ですのでオススメです。



3 前輪取り付け部をVブレーキが前になるように回転します。



4 ハンドルを差し込みます。固定は後ほどおこないます。ハンドルが邪魔な方向を間違えないように差し込んでおきます



5 K B 2本体の前輪部の保護材を外します。



6 後輪と同じようにVブレーキのロックを外します。



7 前輪を取り付けます。本体左側にクイックリリースレバーが来るように取り付けます。ナットとレバーを回転させて締めていき、最後にレバーを倒して固定します。



8 後輪と同じようにブレーキパッドを90度回転します。前のブレーキパッドにも曲面がありますので、曲面側をタイヤのゴム側になるようにします。



9 Vブレーキのロックを元に戻します。

4. ハンドルの取り付け



1 ハンドルを取り付けます。高さを調整しながら上部のナットを12mmのスパナで締めていきます。



2 ハンドルの方向調整は前輪部分をまたいで両足でタイヤを抑えながら行うと真っすぐの調整がしやすいです。

※ハンドルの高さは高さ限界位置ラインよりも高くしないでください。限界ラインが隠れるぐらいが一番高い位置となります。

5. タイヤに空気を入れる



KB2は空気圧をチェックできる米式タイプの空気入れが必要です。



タイヤの空気を入れます。最大空気圧は280kPa(40P.S.I)です。最大空気圧を超えるとパンク、タイヤの変形などの原因になります。



タイヤの空気バルブの黒キャップを外し、空気を280kPaまで入れます。

6. ブレーキパッドの調整



六角レンチ5mmを使用します。
タイヤの外側(空気チューブ側)にブレーキパッドの曲面が来ているのを確認してから、ブレーキパッドをタイヤのリム(タイヤホイールの金属部分)に押し当てます。ブレーキパッドがリムに密着するように六角レンチで固定します。
この時隙間が空かないようにすることでブレーキがしっかりと効くようになります。

7. ブレーキワイヤーの調整



六角レンチ5mmを使用します。
Vブレーキの上側を掴むように持ち、両方のパッドをリムに押し当てた状態でワイヤーを止めているネジを緩め、片側のパッドが接した状態で反対側のパッドがタイヤのリムから3~4mmほど離れた状態でネジを締めて固定します。
両方のブレーキパッドとリムの間隔を左右合わせて3~4mmとなるようにします。

8. ブレーキパッドの開きの調整



ブレーキパッドとリムの隙間が左右同じぐらいに調整します。
ブレーキパッドとタイヤリムの間隔が広い方のネジを少しだけ緩め、狭い方のネジを少しだけ締めます。ネジの調整は4分の1回転ずつおこないます。ネジを回し過ぎると調整が上手くいきません。ネジをほんの少し回しては、ブレーキレバーを握る、を繰り返すと調整ができます。
ここは慌てずに行う方が早く上手く調整できますので焦りは禁物です。

9. ハンドルバーの角度の調整



箱に入っている状態ではハンドルバーが地面に対して垂直になっていません。
このハンドルバーを垂直に調整します。



13mmのレンチ(スパナでも良い)で4つのナットを緩め、ハンドルバーが地面と垂直になるように調整をします。
4つのナットの締めすぎには注意してください。4つのナットは均等になるように少しづつ交互に締めていきます。



スタンドを立てない状態でハンドルバーを垂直に調整できました。
(写真では分かり難いかも知れませんが違います)

10. ハンドルグリップの調整



3mmの六角レンチを使用しグリップ左右にあるネジを両方緩めます。グリップを握り、丁度良い角度に調整をし、再度ネジを締めます。基本はハンドルに手を置いた際に手の平が当たる部分にグリップの平面が来るようにします。お好みでもかまいませんが、グリップのネジの締め忘れにはご注意ください。

11. ブレーキレバーの調整



ブレーキレバーの固定ネジは下側にあります。5mmの六角レンチを使用してネジを緩めて調整します。



ブレーキレバーも好きな位置で固定してかまいませんが、基本はグリップに手の平を載せ、指を曲げて握る位置に固定します。

12. 保護部品の取り付け



ハンドル上部中央にハンドル保護カバー（丸筒）を取り付けます。マジックテープを剥がすと中のスポンジに切り込みが入っていますので、ハンドル中央部に装着します。



ハンドル保護カバー（四角）をハンドルバーネジ部にかぶせるように装着します。



完成

ブレーキの左右交換方法

K B 2のブレーキレバーは、右側を握ると後輪のブレーキが効きます。
左側のブレーキレバーを握ると前輪のブレーキが効きます。
日本仕様では、右ブレーキが前輪、左ブレーキが後輪というのが通常ですので人によっては使いにくいです。
この章ではブレーキの左右交換方法を解説します。



1 Vブレーキのロックを外します。
ブレーキレバーの溝と微調整ネジ、ロックネジのスリットをまっすぐあわせませす。



2 スリットを使い、ブレーキワイヤーを外します。



3 左右入れ替えれば、左右のブレーキの入れ替えが完了します。

各部の説明



お問合せ先・輸入元

LBC 株式会社
神奈川県平塚市大神字一之堰 605 THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA 1226 区画
Tel : 0463-86-3235 <https://www.lbcweb.jp>